

ミニトマト苗の北広島町内供給体制づくり

【平成30年7月12日掲載】

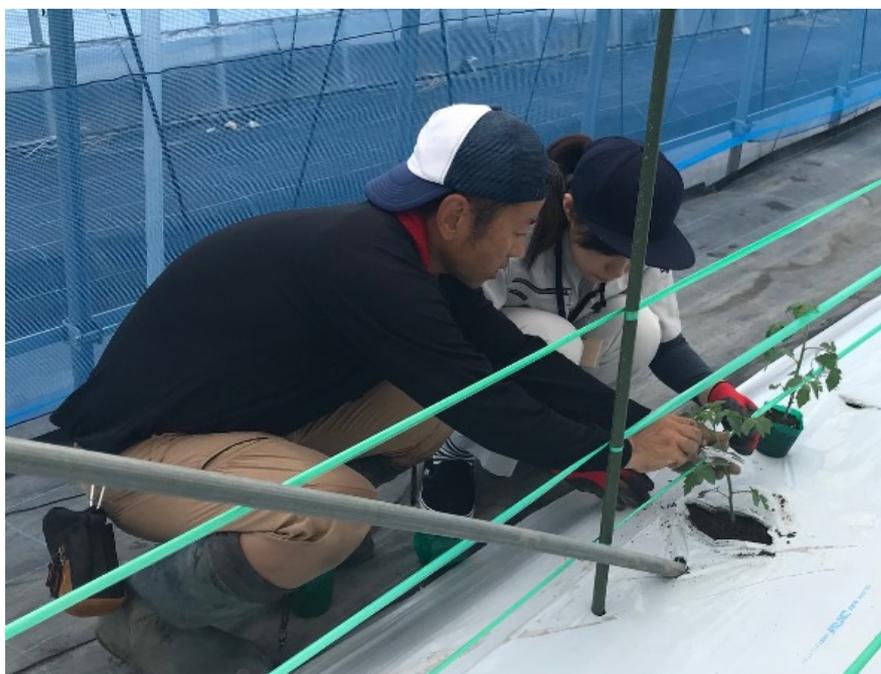
J A 広島北部ミニトマトグループは、県外業者から購入している苗を町内産に転換する取組を進めています。

県外業者からの苗は、遠距離輸送による苗の傷みとコスト高、生育のバラつきが問題となっていました。そこで、北広島町農業技術部会では、技術的に優れた豊平地区の花壇苗生産者に対し、試験的に育苗を委託することとしました。

苗は順調に生育し、6月28日に折出健二郎(おりで けんじろう)氏の圃場で定植作業が行われました。

これまで、花壇苗生産者へミニトマト生産者が求める苗質について情報提供してきたことが成功した要因と考えられます。今回の試験結果を生かして、町内産への転換が拡大することで、苗の品質向上やコスト削減が期待されます。

北広島町農業技術部会と定植後の生育や最終的な収量等を検証しながら、ミニトマト生産者と花壇苗生産者の連携強化を図り、品質が良く安価な苗生産の拡大を目指します。



北広島町産苗を定植する折出氏（左）

情報提供元

西部農業技術指導所